

東九州自動車道の4車線化に係る知事コメント

本日、国土交通省において、東九州自動車道「津久見IC～佐伯IC間（約3.3km）」が来年度に新たに着手する4車線化の候補箇所として選定されました。

平成27年3月の県内全線開通以来、多くの企業が進出し、地域経済が活性化するなど、東九州自動車道は重要な役割を果たしてきました。

4車線化が進めば、さらに人や物の流れが活性化し、九州の東の玄関口としての拠点化がますます進展するものと期待しています。

国土交通省、NEXCO 西日本のご高配に加え、これまで4車線化の早期事業着手を求めた要望活動や事業環境整備をともに取組んできた沿線自治体や経済界をはじめ、関係の皆様方に心より御礼申し上げます。

県といたしましては、引き続き暫定2車線区間の4車線化に向けて、全力で取組んでまいります。

令和4年3月4日
大分県知事 広瀬 勝貞